

☆市民活動をFMラジオで発信☆ 『つなげよう！市民のチカラ！』

○第87回：2022年9月25日（日）

○ゲスト：西部仲町町会 町会長

北島 昌夫（トバタ マサオ）さん



写真：北島さん

○ 放送内容

今回の放送では、西部仲町町会町会長・北島昌夫さんをお招きしました。北島さんには、自主防災組織を結成している西部仲町町会の活動内容や今後の活動への思いなどについてお話しいただきました。

◆ 『仲町地区』ってどんなところ？

西部仲町町会を含む仲町地区は弘前城のすぐ北側に位置し、『仲町地区伝統的建造物群保存地区』を有する歴史ある地区です□□伊東家や笹森家、岩田家といった武家住宅のほか、黒板塀、サワラの生垣が点在しており、城下町の風情を感じられるのが特徴です🏯🌸

◆ 自主防災組織を結成したきっかけとは？どんな活動をしている？

西部仲町町会では、住民や伝統的建造物群を火災や災害から守ることを目的に、平成28年に自主防災組織を結成しました。平成29年に「市民参加型まちづくり1%システム」を活用して活動を開始して以来、今年で6年目となります。西部仲町だけでなく、近隣の中部・東部仲町などとも連携して取り組んでいることも特徴です。主な活動としては、年1回、仲町緑地公園で市民や消防団らと一緒に、消火訓練や炊き出しなど、実践的な訓練を行っています。また、円滑な避難行動につなげるためには、町会内で避難時に助けが必要な人はいないか等、日頃から情報共有することがとても大切です。西部仲町自主防災組織のメンバーは、町会役員や地域の子どもねぶたの役員を兼務している方も多いため、色々な集まりの場で町会内の情報を共有できることが強みだそうです🔄

◆ 防災における今後の課題は？

災害時には、自主防災組織のメンバーだけが動けば良いというわけではなく、住民もお互いに協力し合い、具体的な役割を持って動くことが必要です👥特に、一人暮らしの高齢者や体の不自由な方は、避難の際に周りの助けが必要になります。そういった方々を、だれが、どう助ければ良いのかをきちんと整備していくことが今後の課題だそうです。また、今年8月の豪雨のような水害への備えも必要不可欠です。ハザードマップの情報をもとに、安全な場所に適切に避難する訓練にも取り組んでいかなければ、ともお話されました。